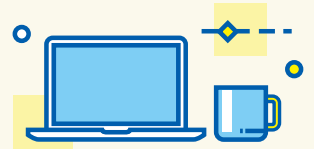


新型コロナウイルス感染症への対応



新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、既存の生活様式を揺るがす大きな変化を社会にもたらし、企業は安心・安全に関わる施策や働き方の見直しを迫られました。当社グループも国や自治体の方針に従い、アミューズメント施設やリゾート事業の営業自粛、リモートワークの積極的な実施、社員と家族へのマスク配布など感染予防・拡大防止に努めています。

商業・遊技施設における対応



新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受けて、当社グループが運営する施設に関して、お客さまと社員の安全確保を最優先に考え、現在も対策を継続しています。2月29日に他施設に先駆けてオービィ横浜の臨時休館を決定した以降も、地域の感染状況や自治体の方針に沿って商業施設やゲームセンターを休業しました。緊急事態宣言解除後から順次営業を再開し、換気や不特定多数の人が触れる機器の都度消毒、入場制限などの3密(密集・密閉・密接)回避に取り組んでいます。加えてスタッフの体調管理やマスク着用、こまめな手洗い・うがいや消毒などを徹底しています。



また、全国の施設向けに計124,700枚のマスクを配付したうえで、お越しいただいたお客さまにもマスク着用や消毒、ソーシャルディスタンスの確保、発熱などの症状のある方へのご来場のご遠慮といったご協力をお願いし、感染拡大防止に努めています。

本社・グループ企業における対応



お客さま、お取引先さま、社員とその家族の安全確保と感染拡大の抑制・早期終息に向けて、本社およびグループ企業の社内向け対策にも注力しています。

緊急事態宣言の発出時には、会社が特別に許可した経営維持・企業存続のための重要業務に携わる必要最低限の人員を除いて全社員を在宅勤務にしました。

当社グループは2019年4月から働き方改革の一環として在宅勤務制度を導入していたこともあり、生産性の低下もなくスムーズにリモートワークへ移行できました。全社在宅勤務によるコミュニケーション不足や閉鎖された状況下で社員の不安やストレスの軽減を目的に、社長とのオンラインミーティングを実施し、グループとして改善すべき点や課題を多くの社員と共有することができました。

宣言解除後も在宅勤務、時差出勤を推奨するとともに、出社前

自治体へのマスク寄贈



エンタテインメントを通じて、グループミッションである「社会をもっと元気に、カラフルに。」を実現するため、セガサミーグループに関わりのある自治体や団体へのマスク寄贈を行いました。

本社のある品川区の「しながわ子ども食堂ネットワーク」や地方創生に係る包括的連携協定を締結する宮城県七ヶ浜町、セガサミー野球部の活動拠点である東京都八王子市の社会福祉協議会に計12,500枚のマスクを寄贈しました。



の検温、出社中のマスク着用、手洗い・消毒、3密状態の回避やソーシャルディスタンスを意識した行動の徹底を図っています。このほか出張の原則禁止、来訪・往訪の自粛、社内外イベント実施の制限といった規則を設けています。

また、グループイントラネット「COMPASS+」内に「新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ」ページを開設し、社長メッセージや在宅勤務に関する注意点などの情報を積極的に発信しています。大崎本社では、やむを得ず出勤する社員に1日1枚マスクを配布するなど、引き続き安心して働ける職場環境の整備を進めています。



オンラインミーティングの様子